

パラマウント通信 mini

2024年7月号

変わりました!

「日本障害者カヌー協会」から「日本パラカヌー連盟」に Japan Paracanoe Association Japan Paracanoe Federation

2021年のTOKYOパラリンピック閉会后、障がい者スポーツの統括団体である日本パラスポーツ協会の名称変更に取り組み、近年、各中央競技団体の名称変更が進んでいます。私たち日本障害者カヌー協会も現在のパラスポーツを取り巻く「状況の変化」に合わせ『障害者』から『パラ』に変更する提案が出され理事会で協議を開始しました。

各地域で〇〇県パラカヌー協会や〇〇県障害者カヌー協会など、地域で活動されている団体との差別化を図るため、また、オリンピック競技の中央競技団体である日本カヌー連盟の組織体制に準じる形をと、私たちがパラリンピック競技の中央競技団体として『日本パラカヌー連盟』へ名称変更の協議が進められました。

2024年3月、新年度の年会費の納入のご案内のタイミングで、会員の皆様に名称変更についてのご意見調査をさせていただきました。その結果をもとに、6月27日に開催した社員総会で決議されました。なお、名称をパラカヌーに変更しても、連盟が対象とするスポーツの範囲を変更するものではなく、全ての障がい者を対象として普及や強化活動を行います。

ごあいさつ

日頃より、本連盟の諸事業に対しまして、多大なるご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。「障害者カヌー協会」は、1995年に設立され、2017年に国内のパラカヌー競技を統括する団体として一般社団法人化され、設立19年目、法人化7年目を迎えます。

現在は、「競技力向上」「普及啓発」「支える土台づくり」を中心にパラスポーツの振興に取り組んでおります。近年のパラスポーツは障がい者が行うスポーツという認識ではなく、障がいの有無関係なく誰もが楽しめるスポーツという認識に広がっており、多くの方がパラスポーツに参加できる機会が増えています。

本連盟では、パラスポーツを通じて障がいの有無にかかわらず、お互いに理解し合いながら共に生きていく共生社会の実現に向け、障がい及び障がい者に対する理解を促進するための活動にも取り組んでおります。つきましては、新名称の本連盟一同、パラスポーツ発展に努力を尽くす所存でございます。引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人日本パラカヌー連盟 会長 小林慎一郎

あなたもパラカヌーサポーターになりませんか？ 今年度も全国6地域で開講 パラカヌーサポーター講習会

山陰地方で初開講

5月26日(日)

昨年5月に京都府京丹後市会場で修了されたサポーターの一人N氏。その後、7月のカヌーチャレンジ競漕(香川県)のサポートにも駆けつけてくださいました。

鳥取県にてこのような体験会を催したいと、まずは県内でのサポーター講習会の開講を目指し、会場探しや自治体や各方面への働きかけに奔走。今年度、船上山少年自然の家を会場に、実現しました。新規受講者14名。その多くがサポーターさんの口コミによる県内外のカヌー愛好者の皆さん。再受講者2名も参加し、自然豊かな会場で、多くの意見交換がされました。

サポーター講習会から次は体験会へ、地域を越えてサポーターの輪がつながり、パラカヌーの輪が広がり始めています。



受講者の声

- ・「水上は究極のバリアフリー」という言葉が心に残りました。
- ・障がい者カヌーに初めてふれ、自由で可能性のあるスポーツだと知りました。
- ・周りの障がい者につながりを広げていきたい。障がい者が自力でできることを聞き、どこからサポートをすればよいかを、コミュニケーションを取りながら対応する大切さを知りました。
- ・日常生活や、学校、職場でも役に立つ内容でした。

今年度の開講予定

5月26日(日) 鳥取県 船上山少年自然の家 **開講済み**
6月1日(日) 江戸川区 新左近川親水公園 **開講済み**
8月4日(日) 千葉県 佐倉市臼井公民館
8月11日(土) 石川県小松市 木場湯カヌー競技場
9月28日(土) 江戸川区 カヌー・スラロームセンター
2025年1月 福岡県

申し込み方法は各回の2か月前から協会サイトに掲載します

講習会修了後は下記の場所でサポート活動が可能です

江戸川区新左近川親水公園の体験会
8月11日(日) 第7回全国200m競漕(石川県)
9月29日(日) パラカヌー体験会
(江戸川区カヌー・スラロームセンター)
10月13日(土) カヌーチャレンジ競漕(香川県)
10月28日(日) パラカヌー体験会(千葉県)

今期から 年間5回の開催が実現！
新左近川親水公園（東京都江戸川区）でのパラカヌー体験会



第1回 2024年5月18日(土)

午前中に2部制(各回1時間の体験)で開催。
この日は昨年度から室内プールでのカヌー体験を開催している
東京都多摩障害者スポーツセンターとの協力事業。
第2部の参加者の皆さんは、プールの体験から屋外体験への挑戦です！

対象は障がいのある方とご家族、ご友人など。
年齢、障害の種別や程度は問わず、
体験される方が未成年の場合は保護者の方との
参加をお願いしています。

今後の予定

- 第2回 7月13日(土) いずれの回も午前中の開催
- 第3回 8月24日(土) 体験時間は1時間です
- 第4回 10月20日(日)
- 第5回 11月10日(日) 申し込み方法は各回の2か月前から
公式サイトに掲載しています

この事業は日本財団パラスポーツサポートセンターの助成による体験会です
第3回は東京都多摩障害者スポーツセンターとの協力事業です

また、この会場での体験会は、パラカヌーサポーター講習会を修了したサポーターたちが大活躍！
水上サポート(安全見守りや付き添い)や陸上サポート(乗艇の補助)など、体験者の皆さんとコミュニケーションを
取りながら活動しています。



2024年7月からの体験会・イベント予定

各イベント・体験会の詳細・申し込み方法は・・・
公式サイト <https://www.Japan-paracha.org/>
開催日の2か月前から 掲載しています



8月11日(日)
第7回全国200m競漕
(石川県小松市)



10月27日(日)
パラカヌー体験会 千葉県
(千葉県佐倉市)



9月29日(日)
パラカヌー体験会カヌー・スラロームセンター
(東京都江戸川区)



10月13日(土)
カヌーチャレンジ競漕
(香川県坂出市)

7月13日(土)・8月24日(土)・10月20日(土)
11月10日(土)
パラカヌー体験会 新左近川親水公園
(東京都江戸川区)



日程調整中
パラカヌー体験会&選手交流会
(鹿児島県伊佐市)



8月28日開幕!

パリ2024パラリンピック大会

5月ハンガリーのセグドでのパラカヌー選手権大会の結果、パリ2024パラリンピック大会の出場枠4カテゴリー(MKL1、WKL1、WKL2、WVL2)を獲得！
2024年7月4日のJPC正式発表により出場が決定した4選手をご紹介します！

WKL1 瀬立 モニカ

せりゆう もにか

1997年11月17日生まれ
東京都出身、東京都在住
所属チーム:江東区カヌー協会

東京パラリンピック7位
2023年世界選手権大会 9位
2024年世界選手権大会 9位

2014年7月 16歳の時に地元・江東区からパラリンピック選手の発掘事業へ誘われたことがきっかけとなり競技をスタート。
2015年の世界選手権大会で国際大会デビュー。
2016年パラカヌーがパラリンピック正式種目として初採用されたリオ大会に日本人として初めて出場しました。
3回目のパラリンピック大会出場を目標は、メダル獲得。



WKL2 宮嶋 志帆

みやじま しほ

1991年11月13日生まれ
長崎県出身、神奈川県在住
所属チーム:神奈川県カヌー協会

2022年世界選手権大会 9位
2023年世界選手権大会 準決勝進出
2023年アジアパラ競技大会 WKL2 6位、WVL2 6位

2018年にパラカヌーに出会い、パラリンピックに出場したかったためこの競技を始めました。
少ない女子選手の中でも、唯一カヤックとヴァーの2種目に取り組んでいる選手です。



カヌー競技は 9月6日～8日

会場:ヴェール・シュル・マルヌ・ノーティカル・スタジアム

大会公式サイト(カヌー)

<https://olympics.com/en/paris-2024/paralympic-games/sports/para-canoe>

WVL2 小松 沙季

こまつ さき

1994年10月1日生まれ
高知県出身、高知県在住

所属:株式会社電通デジタル
所属チーム:高知県カヌー協会

東京パラリンピック出場
2022年 世界選手権大会 8位
2023年 ワールドカップ大会 7位 世界選手権大会 8位
アジアパラ競技大会 3位
2024年 世界選手権大会 9位

パラカヌーを始めたきっかけは、障がい者に対する社会の環境を変えたかったから。
2021年26歳の時にJ-STARタレント発掘事業の広島会場でスカウトされて競技を始めました。
2021年 ワールドカップ大会で国際大会にデビューし、一気に頭角を現して東京パラリンピック大会出場。



MKL1 高木 裕太

たかぎ ゆうた

1994年10月12日生まれ
大阪府出身、大阪府在住

所属:インフィニオン・テクノロジーズジャパン株式会社
所属チーム:岐阜県カヌー協会パラカヌー部

東京パラリンピック 12位
2018年 アジア選手権 KL1 金メダル
2023年 日本選手権 KL1 金メダル
ワールドカップ 7位 世界選手権 15位
2024年 世界選手権大会 VL1 3位【銅メダル獲得】

2017年22歳の時、友人に誘われてパラカヌー競技をスタートしました。
初めての国際大会デビューは2018年のワールドカップ。
スポーツのモットーは『笑顔』



パラカヌー公式SNS 情報発信中!



出場選手全員がメダルを獲得！
レガシー施設 海の森水上競技場での パラカヌーアジア選手権大会

4月18日に開幕した2024ACCアジアカヌースプリント&パラカヌー選手権大会。TOKYO2020のレガシー会場・海の森水上競技場で、アジア各国の選手が集結し、熱い戦いが繰り広げられました。

パラカヌーJAPANチームからも7名の選手が出場し、全員がメダルを獲得しました。パラリンピック東京大会では無観客だった会場に、多くの観客が訪れ、日の丸の旗が何度も掲揚されました。そして、WKL3の加治良美選手が金メダルを獲得！この会場で初めて「君が代」が流れ、大会関係者一同、感慨深い大会となりました。



パラカヌー日本チーム結果

MKL1	高木裕太	2位
MKL2	辰己博実	2位
MKL3	今井航一	4位
MVL1	関根徹哉	3位
MVL2	加藤隆典	3位
MVL3	今井航一	2位
WKL3	加治良美	1位
WVL2	小松沙季	2位

パリ2024パラリンピック出場枠をかけて
2024 ICFパラカヌー世界選手権大会

5月9日～11日、ハンガリーのセグドにて2024ICFパラカヌー世界選手権大会&パリ2024パラリンピック最終予選会が開催されました。

第1次予選となった2023年の世界選手権大会にて上位6か国の出場が決まっており、この大会で残り4か国の出場枠をかけての戦いとなりました。

パラカヌーJAPANからは9名の選手が出場。東京大会以降に積み重ねてきた自身のベストを尽くして戦いました。



祝！MVL1 高木裕太選手
世界選手権大会で日本パラカヌー初のメダル獲得！

2010年初のパラカヌー世界選手権が開催されて以来、毎年のように選手を派遣してきましたが、今年の世界選手権で日本パラカヌー史上初のメダリストが誕生しました！

VL1はまだパラリンピックの正式採用種目ではありませんが、当該クラスの選手層が厚くなってきた中でメダル獲得は一緒に研鑽を積んできた仲間にとっても嬉しいメダルでした。



一般社団法人日本パラカヌー連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4F

<https://www.Japan-paracha.org/>



Daiwa Living®



※協賛企業募集中!!